

関係者各位

JPA技術委員会 委員長 二宮 正晴  
(公印省略)

## 全日本パワーリフティング選手権大会 ガイドライン強化項目

目的：全日本パワーリフティング選手権大会を選手及び運営側を考慮し、円滑な運営及び、新型コロナウイルス対策が強化出来る取り組みを強化する。

### 1. 8月29日のコスチュームチェック

8月29日(土)の選手対応 通常通り実施する。

30日(日)の先行対応 29日に状況確認しながら対応(昨年と同じ)

※人数的に混雑及び、各クラス45～60分対応出来る為、特別対応無し

但し、技術委員長判断で、得策(2面对応)を取る場合もある。

**準備品：フェイスシールド、手袋、消毒液**

### 2. 検量室

靴下着用を、任意対応とする。

但し、検量体重ギリギリの人、戦略的に体重を軽くしたい選手は脱いも良い。

裸足の選手検量後は、ペーパータオルで吹く。

**準備品：ペーパータオル、消毒液**

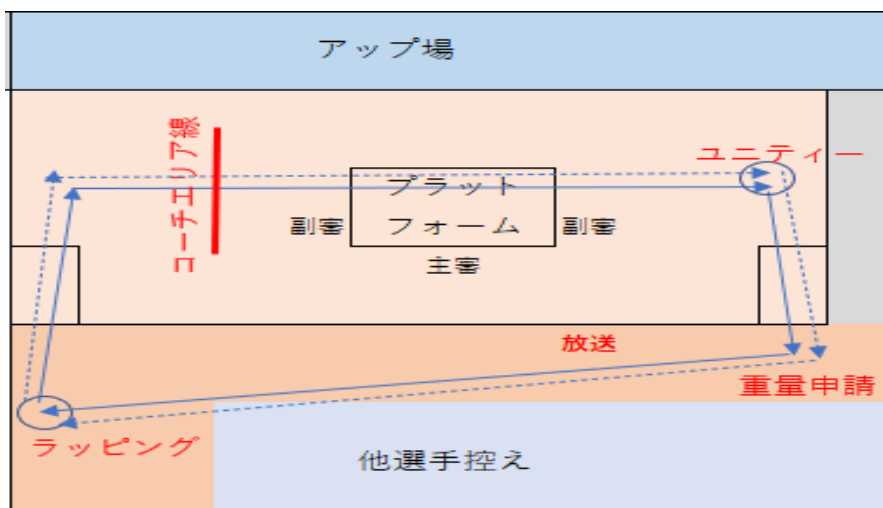
### 3. アップ場

アップ場へは、時間(タイミング)を決め、試合中のグループ選手・セコンドのみアップ場へ入場可能とし、デットリフト最終グループ試技開始より、次のグループ入場を可とする。

### 4. 試合中の選手セコンド動線等

選手はセコンドとともに、コーチングエリア迄進む、その後、セコンドは選手を送り出しその場(コーチングエリア)に止まり、選手が試技を終えて、主審の「ラック」の判定後、プラットフォーム後方で選手とともに、ユニティーエリアに向かいバンテージ等を解き、出口に向かう。

《図解》



5. テクニカルコントローラー  
選手とディープな位置にて対応の為、フェイスシールを着用頂く。  
**準備品：フェスジールド**
6. 試合期間中及び前後の会食は控えて頂く。
7. その他
  - ① 大会当日の審判・役員服装は、熱中症対策として、上着無しでお願い致します。
  - ② 尚、実施中に、全体最適及び新型コロナ対策強化の意味から、状況等を把握し、改善していく事があります。

以上、何卒、ご協力ご理解の程、宜しくお願い致します。